

中国地域自動車関連技術シーズ提案会

参加申込書

必要事項を記入の上、平成26年10月20日(月)までに下記申込先にEメールでお申込みください。
送付に際して、必ず電話にて受信等をご確認ください。

会 社 名				
住 所				
会 社 情 報	従業員数	名	売上高 (年)	億円
	主要製品 及び取引先			
連 絡 先	担当部門：		ふりがな 担当者名：	
	TEL：		FAX：	
	E-mail：			
参加予定者	所属	役職	氏 名	

《提案内容の概要》

提案領域 該当する項目をひとつだけ選択して、✓してください。	・次世代パワースource技術 ☐ 内燃機関技術 ☐ 熱マネージメント技術 ☐ 電動化技術	・次世代安全・快適性技術 ☐ 安全向上技術 ☐ デザインをサポートする技術 ☐ 人馬一体をサポートする技術	・次世代軽量化技術 ☐ 異種材料を接合する技術 ☐ 材料性能を高める技術 ☐ 車両性能を高める技術
提 案 名			
提案概要	ポイントを記入して下さい。 <u>詳細は、別途、エントリー用紙に記載して下さい。</u>		
備 考	提案書には、添付してある、昨年度開催されたマツダ(株)のニーズ発信会の情報を、十分に吟味、検討された内容であって、組織的なコミットメントを得ているものを、ご記載下さいますよう、お願いします。		
資 料 等	当日、会社概要資料及び提案内容に係る資料を会場にご持参ください。 (各3部)		

1 参加予定者は1提案2名以内での参加申込みとなります。複数提案をされる場合、各テーマにつき申込書を1枚ずつ提出ください。

2 申込後の流れについては、開催案内別紙の実施スケジュールをご参照下さい。また、提案書に記載された各種情報は、マツダ㈱及び開催機関で共有いたしますのであらかじめご了承ください。

申込先につきましては、主催機関（中国経済産業局 or 一般財団法人ひろぎん経済研究所）になります。連絡先等はエントリーシート末尾をご参照ください。

中国地域自動車関連技術シーズ提案会 エントリーシート

必要事項を記入の上、申込書と一緒に、平成 26 年 10 月 20 日（月）までに下記申込先に E メールで送付ください。送付に際して、必ず電話にて受信等をご確認ください。

《提案内容の概要》

【技術シーズ名】		
【キーワード】 ○○センサ、居眠り検知、○○データ		
提案領域 該当する項目をひとつだけ選択して、✓してください。	・次世代パワーソース技術 ☐ 内燃機関技術 ☐ 熱マネジメント技術 ☐ 電動化技術 ・次世代安全・快適性技術 ☐ 安全向上技術 ☐ デザインをサポートする技術 ☐ 人馬一体をサポートする技術 ・次世代軽量化技術 ☐ 異種材料を接合する技術 ☐ 材料性能を高める技術 ☐ 車両性能を高める技術	
提 案 名		
提案概要	【技術シーズの概要】 技術のポイントをポンチ絵等を使ってわかりやすく説明して下さい。 例) 独自に開発した○○センサ技術を活用することにより、ドライバーの居眠りの予兆検出の精度を飛躍的に向上できる。	
	<table border="1"><tr><td>従来（一般的な技術） <u>ポイントを簡潔に記述。</u> 例) ・これまでに開発されている居眠り検知技術の多くが、人体の○○部分の状態を把握するシステム。 ・同システムは、○○等の問題点があり、データの変化を早期かつ詳細に把握することが困難。</td><td>従来と比べた当該技術シーズの優位性 従来技術に対する優位性と製品化されることによる競争力の根拠について、ポイントを簡潔に説明して下さい。 例) 従来技術との違い ・シートに設置したセンサを通じて人体の○○部分の状態を精細に把握、データの○○変化をとらえて信号を発する。</td></tr></table>	従来（一般的な技術） <u>ポイントを簡潔に記述。</u> 例) ・これまでに開発されている居眠り検知技術の多くが、人体の○○部分の状態を把握するシステム。 ・同システムは、○○等の問題点があり、データの変化を早期かつ詳細に把握することが困難。
従来（一般的な技術） <u>ポイントを簡潔に記述。</u> 例) ・これまでに開発されている居眠り検知技術の多くが、人体の○○部分の状態を把握するシステム。 ・同システムは、○○等の問題点があり、データの変化を早期かつ詳細に把握することが困難。	従来と比べた当該技術シーズの優位性 従来技術に対する優位性と製品化されることによる競争力の根拠について、ポイントを簡潔に説明して下さい。 例) 従来技術との違い ・シートに設置したセンサを通じて人体の○○部分の状態を精細に把握、データの○○変化をとらえて信号を発する。	



提案概要	・コスト的にも、〇〇が問題となり、1セットで〇〇円程度と割高となるため、実車採用は難しかった。 ・当社の〇〇技術は、〇〇年登録の特許技術を実用化したものであり、(あるいは、共同研究を進めてきた〇〇大学 先生の発表シーズの実用化技術であり) この技術による製品化には、先行技術(出願等)の例が他にない。 ・検出精度の向上を目的として、関連する生体状態に係る実験データを豊富に蓄積している。 ・コストは約〇〇円程度と大幅に割安化できる。その根拠は、・・・。
開発進度 該当する項目をひとつだけ選択して、✓してください。	☐ アイデア段階 (マツダ様等との共同開発の希望 有・無)(完了予定 年 月頃) ☐ 試作・実験段階 (マツダ様等との共同開発の希望 有・無)(完了予定 年 月頃) ☐ 開発完了段階 ☐ 製品化完了
備 考	
資 料 等	当日、会社概要資料及び提案内容に係る資料を会場にご持参ください。 (各5部)

1 参加予定者は **1 提案 2 名以内での参加申込みとなります**。複数提案をされる場合、**各提案につき申込書を 1 枚ずつ提出ください。**

2 この申込書に記載された各種情報は、**マツダ様及び開催機関で共有**いたしますのであらかじめご了承ください。

●お問合せ・お申込み先

中国経済産業局 地域経済部 産学官連携産業クラスター担当参事官(担当者: 森安)

Tel : 082-224-5760 / E-Mail : moriyasu-akira@meti.go.jp

一般財団法人ひろぎん経済研究所(担当者: 垣崎、武田)

Tel : 082-247-4958 / E-Mail : chousa@hirogin-ri.jp